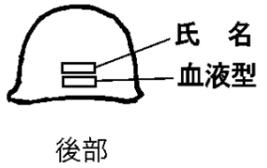
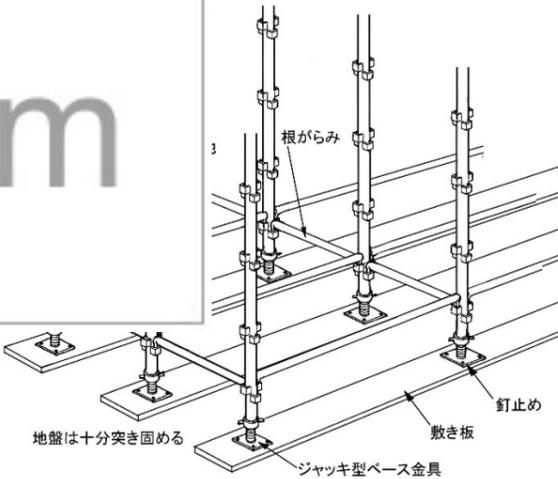
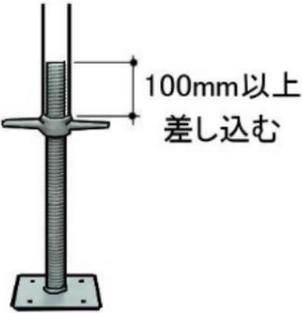
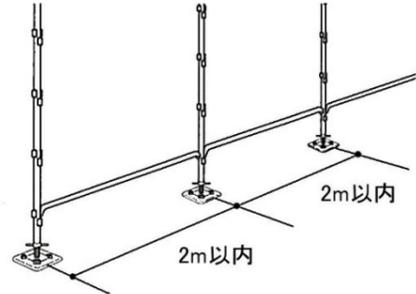


作業手順書	使用機材	くさび緊結式足場材・移動式クレーン( t )	必要な資格等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン等運転(免許・技能講習・特別教育)</li> <li>・移動式クレーン免許</li> <li>・足場の組立等作業主任者</li> <li>・足場作業特別教育受講者</li> <li>・玉掛者(技能講習 1t 以上・特別教育 1t 未満)</li> <li>・合図者</li> <li>・監視人</li> </ul>
作業名	器具・工具類	ハンマー・ラジエット・玉掛ワイヤー 介錯ロープ・安全ブロック・滑車・その他( )		
会社名	保護具	保護帽、安全靴、保護手袋、フルハーネス型墜落制止用器具		
作業人員	安全設備	親綱、バリケード・カラーコーン・トラロープ		

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
準備作業													
1. 朝礼に出席する	・ラジオ体操に参加						・体を十分にほぐす。	作業員					
	・朝礼での安全指示事項を把握する。						・危険箇所、立入禁止箇所等を把握	作業員					
2. 作業前のミーティング	・右姿冬装の確切な1. 適正配置を行う	・足場からの墜落					・作業主任者の指揮で作業する	職 長					
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													
	密に行つ。 ・足場作業は特別教育受講者が行う						を密にし、作業エリアを区別する。 ・作業主任者の氏名、職務内容を提示						
3. 高所作業の服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あご紐はきちんと締める</li> <li>・墜落制止用器具は高所では常に肩かけ</li> <li>・免許証、講習修了証等を携帯する</li> <li>・袖口はしぼる</li> <li>・ズボンは裾の中に入れるか足カバーでしぼる</li> <li>・高所用安全靴を使用する</li> </ul>							作業員					



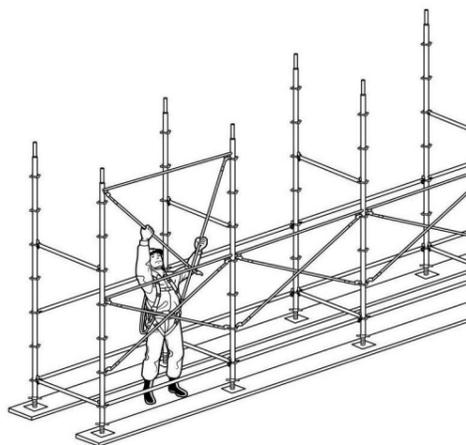
作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
・本作業													
1. 前作業	立入り禁止処置を行う ・組立場所をバリケード、ロープ等で立入り禁止処置を行う。	・関係者以外の立入り	3	4	7	2	・立入り禁止は分かりやすく設置する。	作業主任者	3	2	5	2	 <p>施工計画を確認する</p>
	施工計画書図を確認する。 ・施工計画図を確認する。 ・図面従い位置出しをする。							作業主任者					
	資材の搬入 ・組立の順番を考え搬入する。 ・玉掛は2点掛とし、ワイヤーは必ず絞って玉掛けする。 ・合図者は、ユニック車に適切に合図する。	・吊荷が、落ちる。 ・運搬中の転倒	6	4	10	4	・玉掛ワイヤーは、12mmの4mを使用する。 ・籠等も、絞って2点掛を行う。 ・足元を確認しながら運搬 ・アウトリガーの確実な張出し	玉掛者 玉掛者 作業者 運転者	6	2	8	3	
2. 地上1段目の組立 (列数分並行して行う)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; opacity: 0.5;">https://www.sekouya.com</p>												
	ジャッキベースの高さの調整。 ・図面を確認しジャッキベースのハンドルを回し高さを調整する。 ・ジャッキベースの使用範囲高さは50cm以下とし、ジャッキベースの最上部から下に10cm以上支柱を挿入する。	・設置中、移動中の転倒	3	4	7	2	・ジャッキ型ベース金具は敷板等の中央に決められた支柱間隔の位置に置き、釘止め等を行い移動しないようにする。 ・また、滑らないように釘打ちなどで固定する。	作業員	3	2	5	2	

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
	支柱の取り付け ・柱にジャッキベースを刺し込みたてる。 ・建地の継手部が、千鳥となるように建地を配置する。 ・建地の継手部は、専用のピンを差し込む等により抜け止めを確実にを行う。	・手、足を挟む。  ・転倒	6	4	10	4	・手元、足元の確認。  ・足下確認	作業者  作業者	6	2	8	3	 ・クサビ受けの向きを同じ方向になるように設置する。
	緊結部付布材の取付け ・地上第一段目の踏板は、2m 以下に設置する。	・つなぎ材と支柱の間に手を挟む。	3	4	7	2	・手元の確認。	作業者	3	2	5	2	
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													
	・ジャッキハンドルを、回し、調整する。	・手指のはさまれ						作業者					・斜面ではジャッキベースの下にキャンバーを入れ調整する。
	クサビの打ち込み。 ・クサビの頭を適確にハンマーで打ち込み、全箇所強固に固定する。	・ハンマーで、手を打つ。 ・手指のはさまれ	6	4	10	4	・手元の確認 ・ハンマーは最初は軽く、徐々に強く打ちこむ。	作業者 作業者	6	2	8	3	
	筋違の取り付け ・くさび緊結式足場専用斜材を使用する場合は、約 45 度の角度で取り付ける。 ・支柱最下部クサビ受けより支柱最上部クサビ受けまで設置する。 ・全層全スパンに渡って連続して設ける。		3	4	7	2			3	2	5	2	・大筋交いの代わりにくさび緊結式足場専用斜材を設ける場合は、大筋交いと同等以上の効果を有するものを用い、足場の後踏み側に 6 層 6 スパン以下の間隔毎に交差 2 方向に設ける。

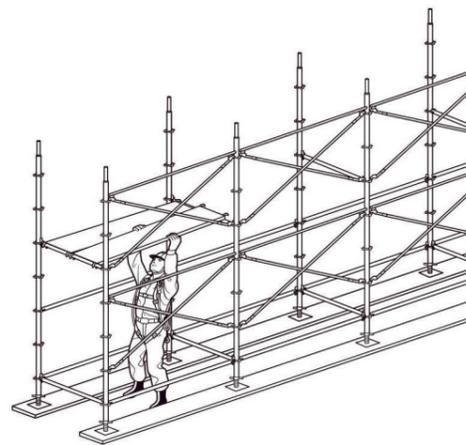
作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
	地上第一段目の踏板の取付け ・段差のないように連続して踏板を設置する。 ・地上第一段目の踏板は、2m 以下に設置する。 ・幅 40cm 以上、隙間 3cm 以下	・取込み中の墜落 ・部材の落下	3	4	7	2	・墜落制止用器具使用	作業者	3	2	5	2	・建物（外壁）から足場までの隙間は、30cm 以下とする。 ・建地と踏板の隙間は 12cm 以下とする
	昇降階段の取り付け ・図面で、取付場所を、確認し取り付ける。 ・階段枠の上部フックは、水平つなぎ材に取り付け下部は、足場板に、固定する。	・取込み中の墜落 ・部材の落下 ・手、指を挟む。	3	4	7	2	・墜落制止用器具使用  ・手元の確認。	作業者  作業者	3	2	5	2	
	階段に沿って、階段手摺を設ける。	・墜落 ・部材の落下	3	4	7	2			3	2	5	2	・踊場は 2 層以下毎に設置する。 ・最上部には踊場を設ける。

先行手すりの取付け手順

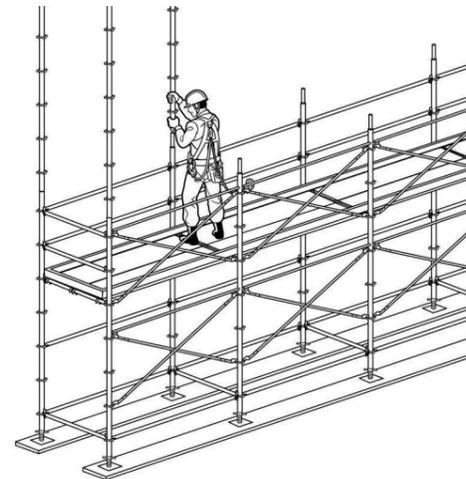
<https://www.sekouya.com>



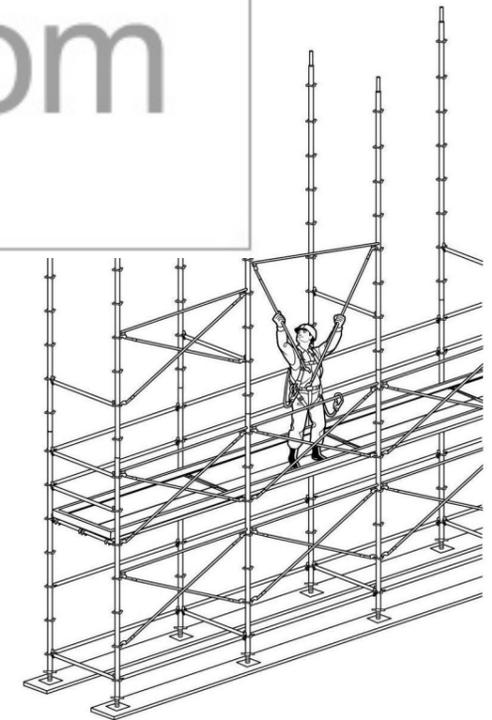
据置手すり機材の取付け



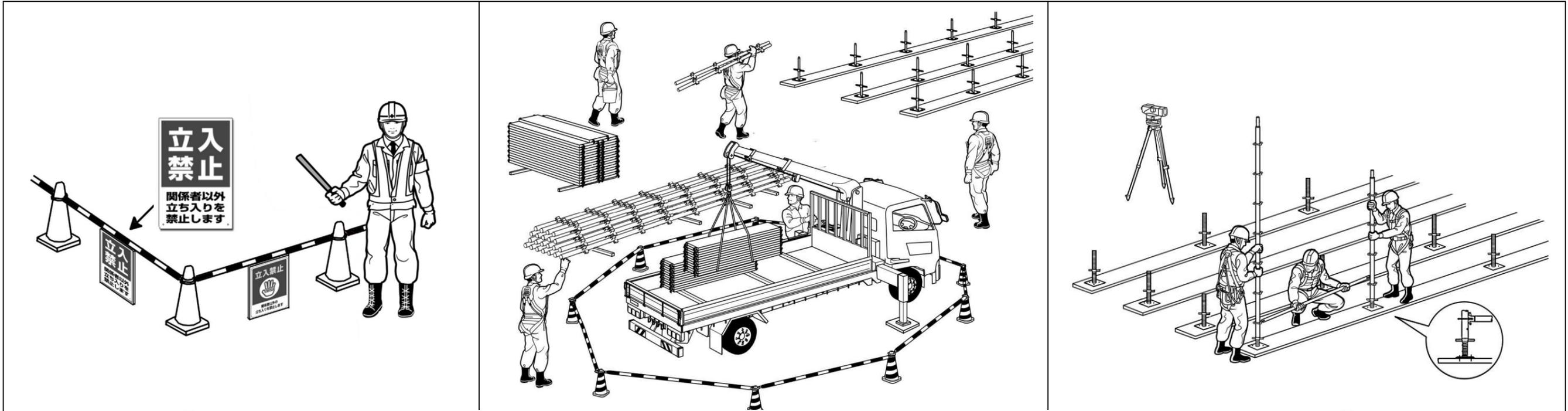
床付き布わくの取付け



支柱の取付け



据置手すり機材の取付け



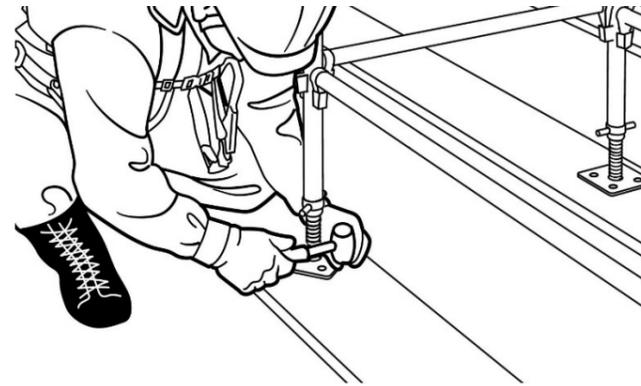
作業区域の立入禁止措置

(建地) 建て込み

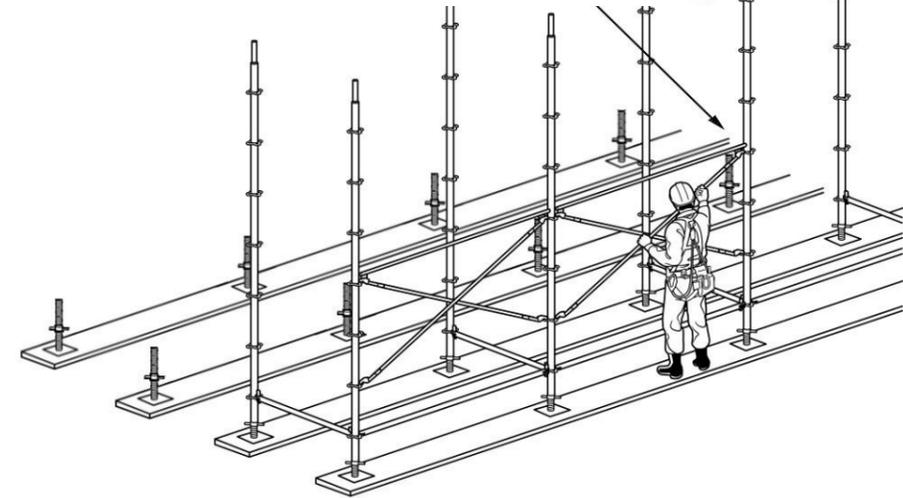
<https://www.sekouya.com>



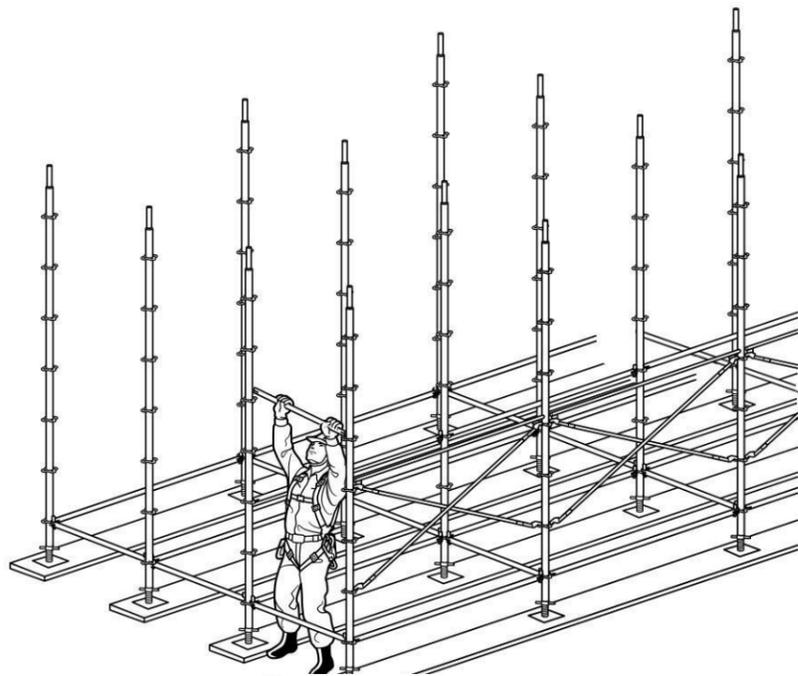
ジャッキベースレベル調整



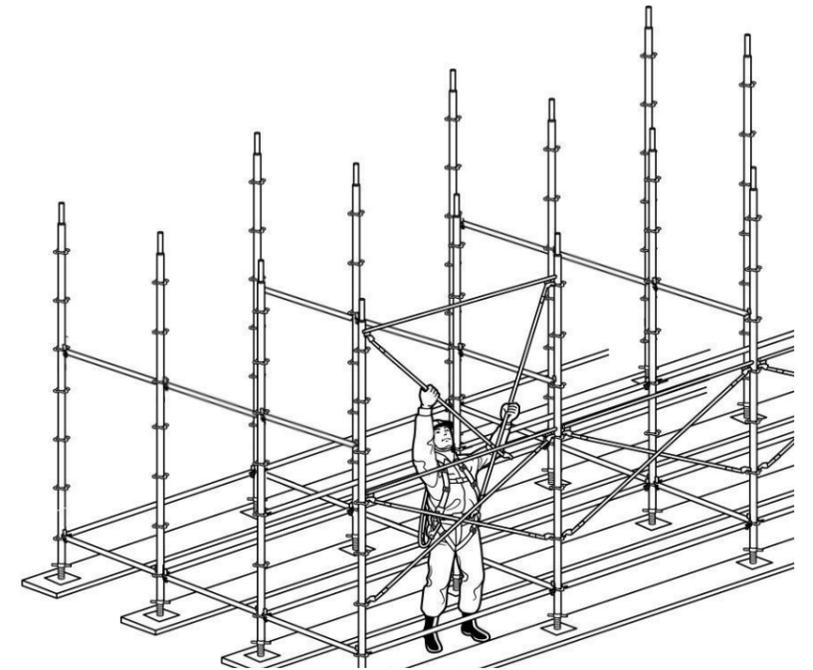
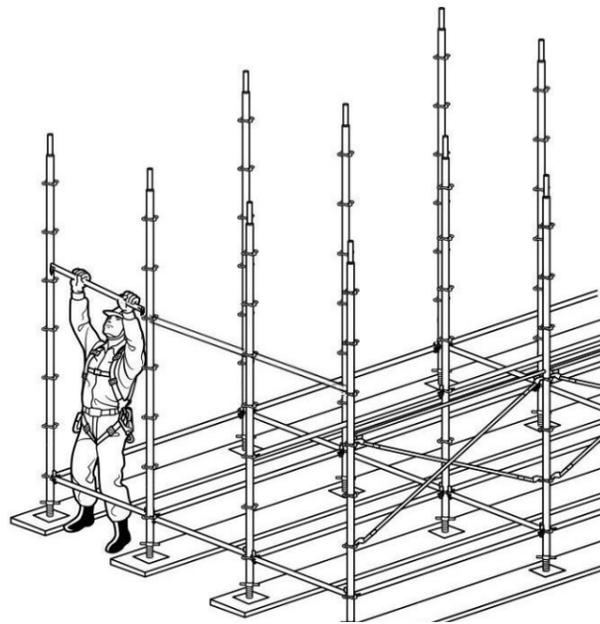
ジャッキベース釘止め



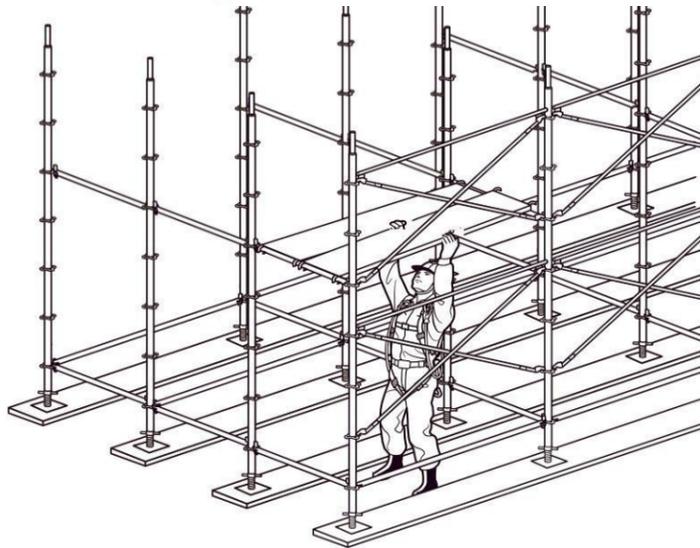
先行手すり取付け



1 列目腕木取付け



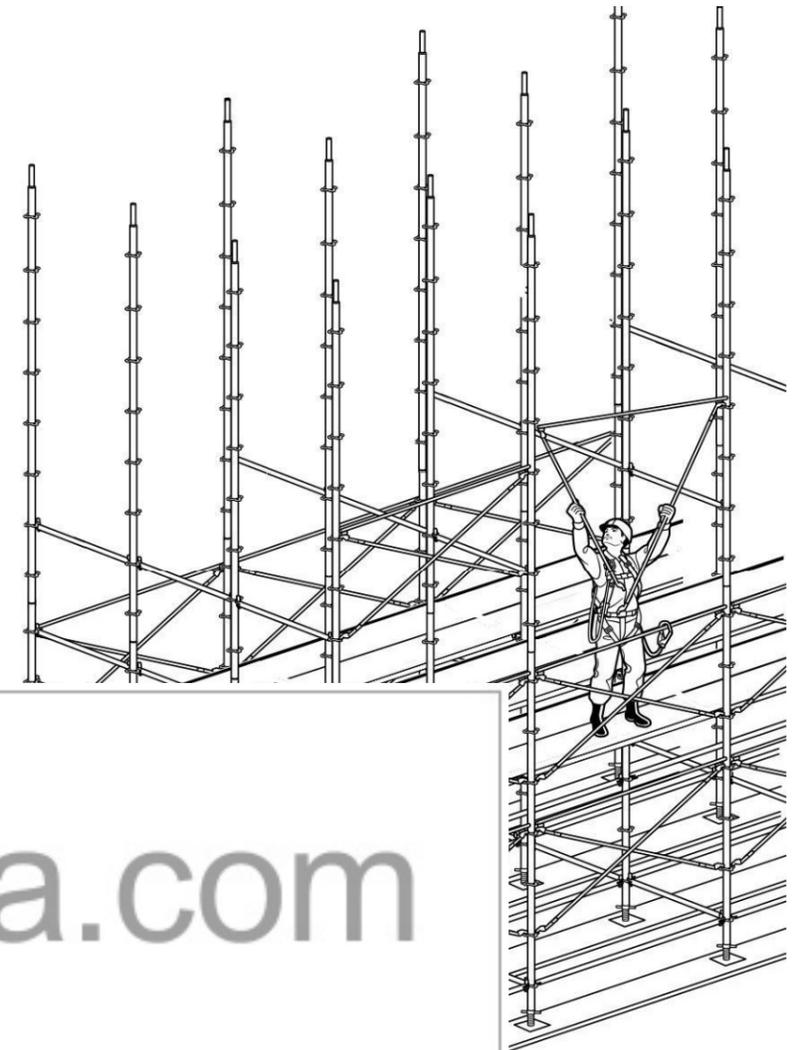
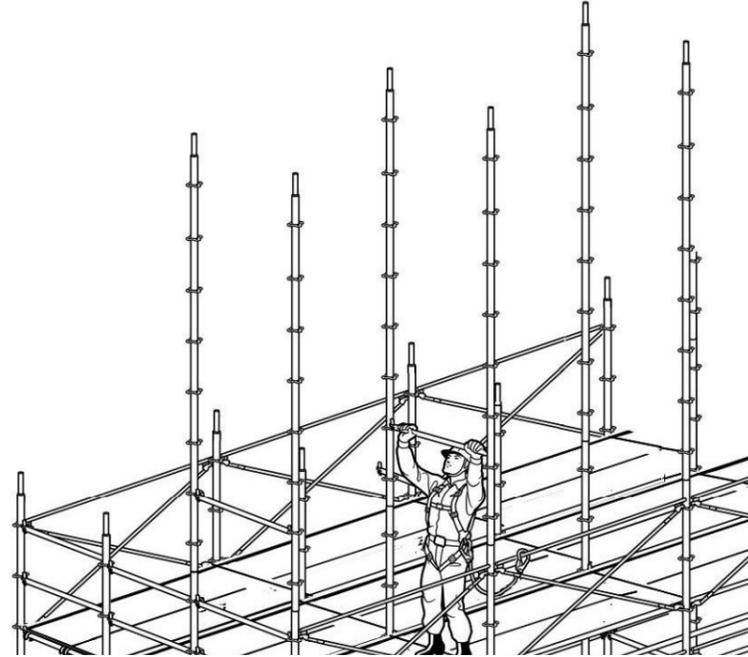
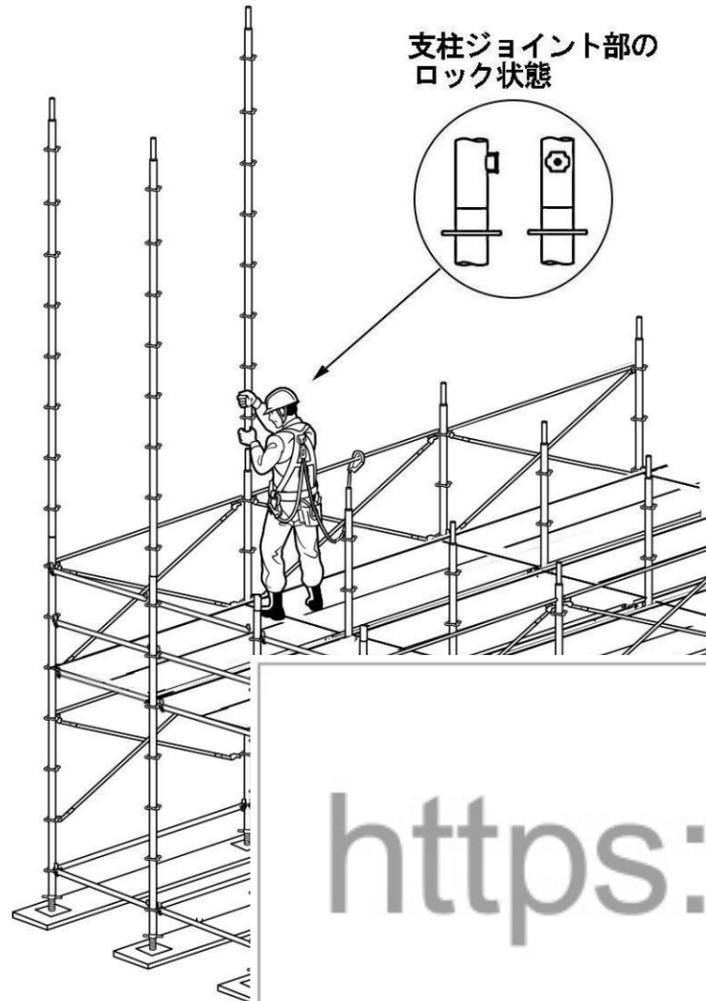
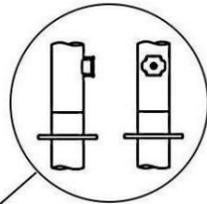
<https://www.sekouya.com>



床付き布枠の取付け

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
3. 地上2段目の組立 (列数分並行して行う)	支柱を上方へ継ぎ足す。 ・2段目に上がり支柱を建てる。 ・妻側の手すりを取り付ける。	・取付け中の墜落	10	2	12	4	・足元の確認。 ・支柱等より、墜落制止用器具の使用。	作業者 作業者	10	1	11	4	
	緊結部付布材の取付け ・布の上下方向の間隔は、1.9m以下とする ・床付き布枠のつかみ金具は、外れ止めを完全にロックさせ、下面からの風の吹上げに対して外れないようにする。	・足場から落ちる。 ・床端、端部からの墜落 ・部材等の落下 ・身を乗り出し墜落	6	4	10	4	・足元の確認。  ・上層への移動は昇降階段を使用する。	作業者  作業者	6	2	8	3	・つかみ金具の外れ止めがさびついたり、つぶれたりしているときは、スムーズに作動しないことがあるので必ず外れ止めの状態を確認する。 ・作業床の幅40cm以上隙間3cm以下
	腕木(緊結部付腕木)の取付け 腕木の上下方向の間隔は、1.9m以下とする。	・手・指を、挟む。 ・足場板が、天秤になる。 ・足場板を、落とす。	3	4	7	2	・手元の確認。 ・敷設後、すぐに、番線等で結束する。 ・手元の確認。	作業者 作業者  作業者	3	2	5	2	・建枠と布枠の隙間12cm未満
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													高さは、10cm以上とする。
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													ケット・安全ネットの取付けに設ける。
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													踏板の隙間は12cm以下とする。
	上段の踏板の取付け	・墜落	6	4	10	4	・墜落制止用器具使用	作業者	6	2	8	3	
	上段の先行手摺を取り付ける。	・墜落	10	2	12	4	・墜落制止用器具を使用	作業者	10	1	11	4	
	階段取付け ・直通階段は3スパン以下になるように設置する。	・端部からの墜落 ・部材の落下	3	4	7	2	・危険な箇所は墜落制止用器具使用	作業者	3	2	5	2	・階段に沿って、高さ90~100cmのところ到手すりを取り付け、さらに中さんを取り付ける。
	階段の手摺を取付ける。		1	4	5	2		作業者	1	2	3	1	
	筋違の取付け ・支柱最下部クサビ受けより支柱最上部クサビ受けまで設置する。 ・取付箇所は、図面を、確認し取り付ける。	・飛来落下	3	4	7	2	・二人一組を原則として作業し、下部作業者が上部作業者に手渡し組み立てる	作業者	3	2	5	2	・水平に対し角度45度の傾きで、全層全スパンに渡って連続して設けます。 ・大筋交いは、足場用鋼管を用い緊結部付支柱に緊結金具(クランプ)で緊結する。

支柱ジョイント部の  
ロック状態

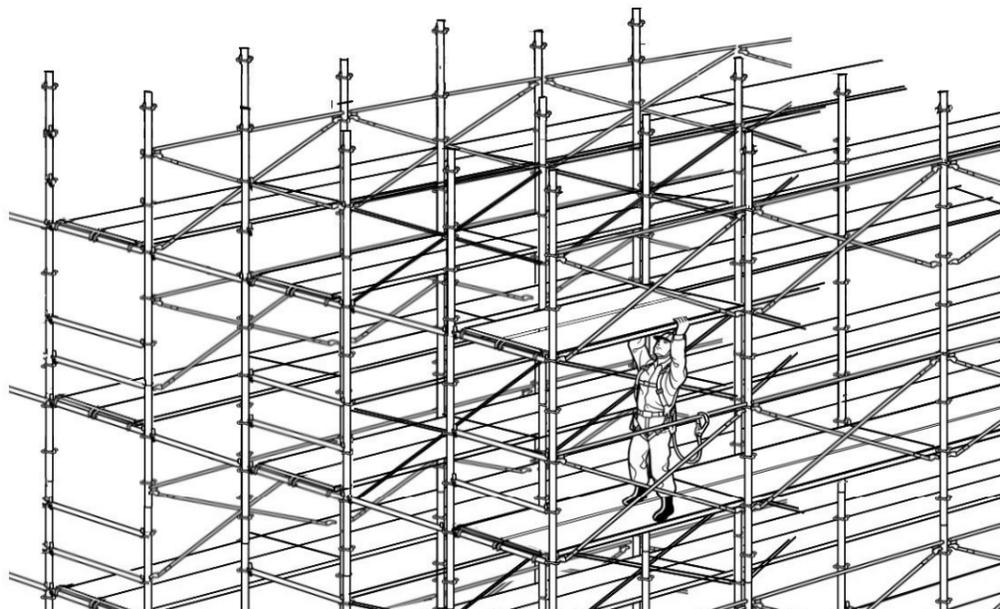
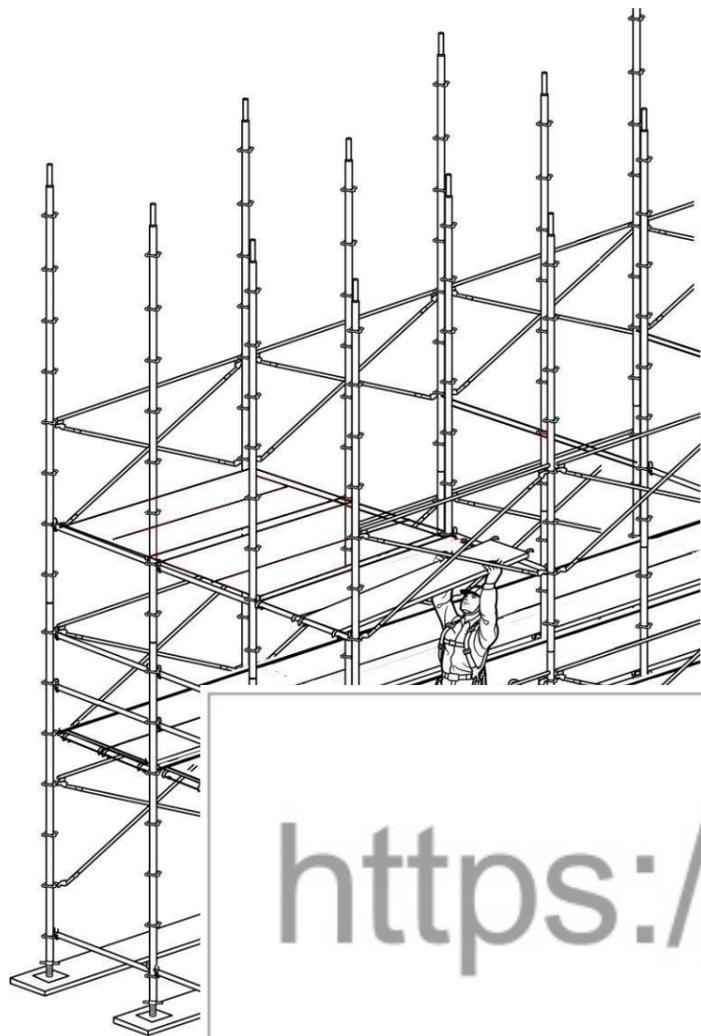


<https://www.sekouya.com>

上部支柱の取り付け

腕木取付け

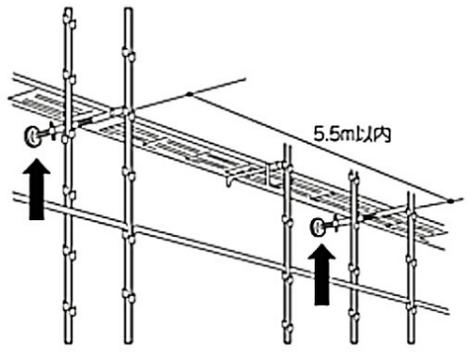
上層先行手すり取付け

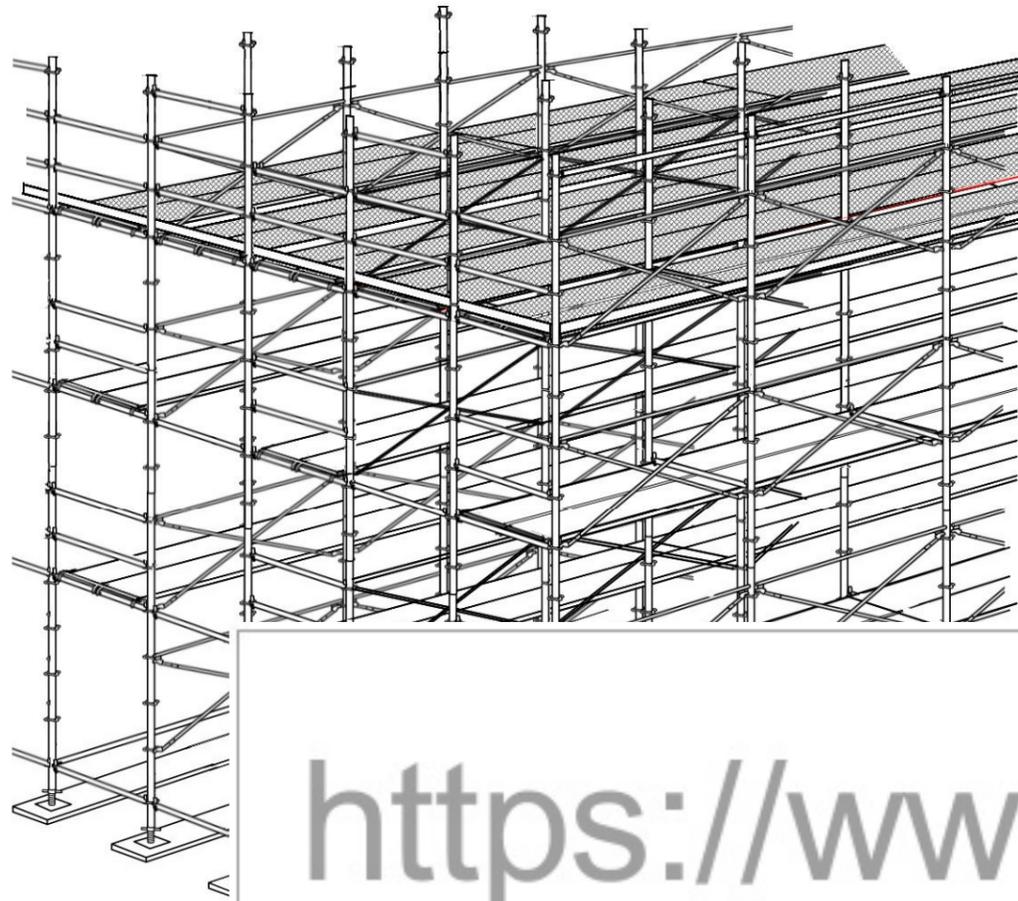


<https://www.sekouya.com>

3層目の床付き布枠取付け

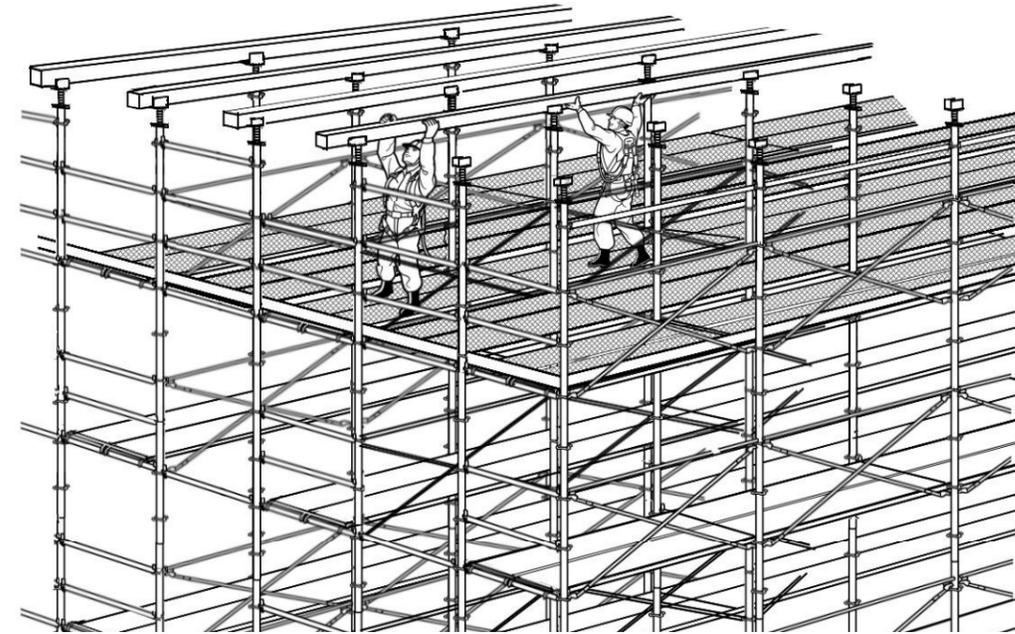
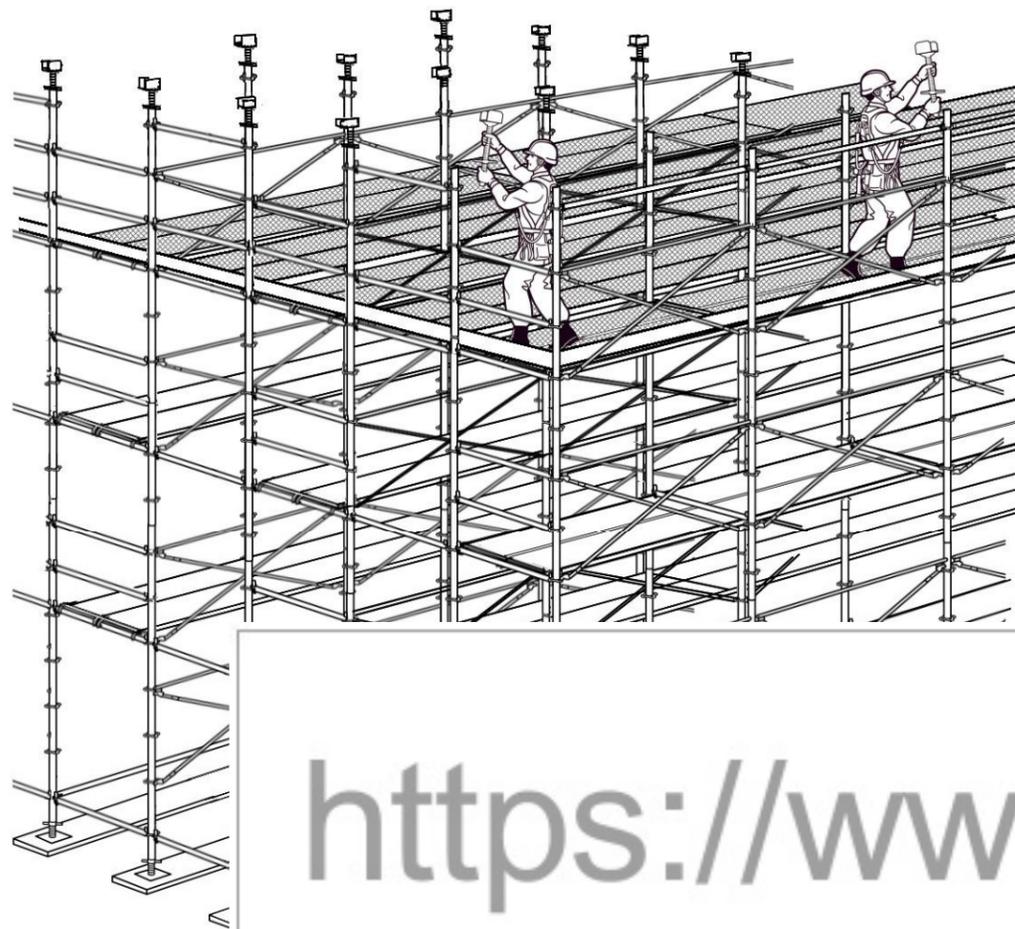
4層目の床付き布枠取付け

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
5. 3段目以降の組立 (列数分並行して行う)	3. の ~ の作業を繰り返す	・端部から墜落 ・部材の落下	6	4	10	4	・墜落制止用器具使用 ・手渡しは確実にを行う。	作業者 作業者	6	2	8	3	・建地と踏板の隙間は 12cm 以下とする
6. 最上段を作業床とする	・最上層は床付き布枠を前面に敷く ・外周部に手すりを取り付ける ・外周部に幅木を取り付ける	・開口部からの墜落 ・部材の落下					・墜落制止用器具を使用する ・手渡しは確実にを行う						・足場板の隙間 3cm 以下 ・床材と建地との隙間は 12cm 未満
7. 大引き受け取付け	・クレーンで大引き受けを荷揚げする ・支柱上部に大引き受けジャッキを取り付ける	・吊り荷の落下 ・大引き受けジャッキの落下					・玉掛けを確実にを行う ・手渡しは確実にを行う。						
8. 大引き取付け	・クレーンで大引材を荷揚げする	・吊り荷の落下					・玉掛けは有資格者が行う						
9. 壁つなぎ取付け (先行躯体がある場合)	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>												への取付けは、柱、梁等の堅 だけ直角に取り付ける。
	・壁つなぎの取付け位置は、支柱と布との交差附近の建地とする。												
10. 壁当てジャッキ (先行躯体がある場合)	・控材の取れない場合(狭小地)では、控え材にかえて壁あてジャッキを3スパン以内にごとに設置する。	・取込み中の墜落 ・部材の落下	1	4	5	2	・踏板の各層に設置する。	作業者	1	2	3	1	



<https://www.sekouya.com>

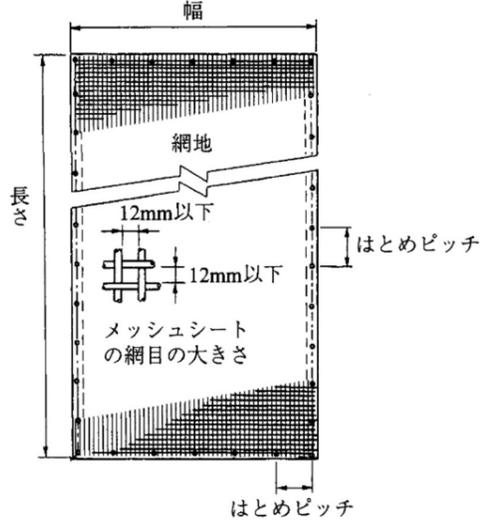
最上層作業床（床付き布枠全面敷き、幅木取付け）



<https://www.sekouya.com>

大引き受けジャッキ取付け

大引き取付け

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
11.メッシュシートを張る場合	(1) 取付けにおける留意事項 予想される風荷重と足場の耐力を十分検討して、壁つなぎ間隔を小さくするなど、足場を補強する。 シート周囲を 35cm 以下の間隔で、隙間やたるみ等が生じないように足場に緊結する。 シートの継合わせ部は、隙間が生じないように確実にとじ合わせる。												
	(2) シートを取り付けた場合の点検 緊結部の取付け状態について、1ヶ月以内ごとに点検する。 大雪、大雨、強風等の後は、シート、水平支持材等の異常の有無について点検する。 シートの近くで溶接作業が行われた場合は、溶接火花又は溶断片による損傷の有無について点検する。												

12. 組立後の点検確認



完了後は、作業主任者が点検を行い、元請の現場管理者等が確認を行い、足場の安全性と作業性を確認する。

点検記録は必ず現場に提出し、点検記録を保存する。  
 ・足場の注文者（元請）も点検する

最大積載荷重		
前踏みと後踏みの間隔	足場の高さ	最大積載荷重
900mm 以上	31m 未満	1 スパン 400kg 以下
600mm 以上 900mm 未満	20m 未満	1 スパン 200kg 以下

緊結部付床付き布枠の許容荷重		
標準寸法 (mm)		1 枚当たりの許容荷重 (kg)
幅	長さ	
240	600	120
400	900	200
	1.800	

地上の基礎面よりから 1 層目、2 層目と順次点検を行い、足場の揺れ、くさびの打ち込み不足等がないかを確認する。  
 これらを確認後に、作業主任者名、積載荷重の標識を掲示し、自社の工事責任者、元請工事責任者に足場設置の完了報告をする。  
 現場撤収時には、足場組替え用部材の仮置き状態は良いか、持ち帰る部材の忘れ物はないかなどを確認する。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
・後片付け													
1. 余剰資材等の後片付け	・残材整理	・開口部等からの墜落	1	2	3	1	・危険箇所を確認 ・開口部の手摺は元通りにしてある。	作業者 作業者	1	2	3	1	
	・仮設資材の整理 ・使用工具類の片付け	・足場上の資機材の落下					・小物は布袋等にまとめる。	作業者					
2. 作業終了	・事務所に異常がないことを	・つまずき転倒	1	4	5	2	・片付け、掃除完了	職長	1	2	3	1	
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													
使用前の点検	・足場の注文者(元請)は、足場を使用する前に点検しなくてはならない。	・足場の不備で墜落	3	4	7	2	・点検を行い、記録し保管する。	元請担当者	3	2	5	2	